

ふれあ

平成二十九年四月より、全国の社会福祉法人（以下、社福）は、新評議員を置かなくてはならなくなり、この号が出る時には、どの法人もほとんど準備は終わっていると思います。昨年の十月には詳細が出るというところでしたが、実際に発表されたのは十一月十一日。残り五ヶ月弱で準備をしなければいけなくなり、各法人はあわただしく対応されたのではないのでしょうか。保育園は一人一施設などの小規模法人が多く、新評議員や役員の人材確保が大変です。今回の改革で罰則規定もあり、誰でも良いというわけにはいきません。改革の内容はここでは述べませんが、ではなぜ、このような改革をしたのか。それは一部の福祉の不正と、いわゆる多

額の内部留保が問題になったからです。後者はあまり保育園には関係ないことが多いですが、前者は保育園関係者の法人もいくつかりました。保育園を運営している法人は、設立の過程で個人の財産を寄付したりなど様々な歴史があります。先人の方たちが子どもたちの為に、志を持って保育園を設立し、今のようない運営費があまり豊かでない時代を切り抜けてこられました。法人経営という意識は、その当時のシステムなどから、ほとんど重視はされていませんでした。なので、そのような意識はなかなか持ち難いと思います。しかし、運営費もある程度良くなり、世間の社福を見る目が、だんだん厳しくなってきました。保育園の不正で多いのは、左右が合わない貸借対照表があったり、内向きな運営体質による情報公開の不足などが多くみられます。このような世間の大きなズレは、多くの問題点を指

摘され、今回のような改革に至った原因の一つになっています。しかし、今回のこの改革は、考え方によっては、一つの大きな転機であり、チャンスでもあるのです。内向きな体質だと思ったら転換し、外向きな情報発信などにより、外部から信頼を得て、我々の味方になってくれる人を、どんどん増やしていくこともできます。新評議員メンバーも新しい仲間になってもらっています。保育園は何をやっているんだろ？社福って何？という世間の意識が、不信任などを生む原因になっていることも事実です。しっかりとホームページなどに情報発信をして、今まで培ってきた保育内容や法人経営を、自信を持って公開していければ良いと思います。決して難しいことではありません。そして、もう一つ。これからは、施設運営から法人経営への、意識の転換が求められています。経営とは決して利益を出すことだけではありません。人材育成や確保、保



育園の運営方針、子どもたちにどのような保育を提供するかなど、これら全ての経営になります。法人経営で一番重要なことは、理念とビジョンです。保育理念とは別にあります。理念とビジョンは船でいえば行き先になります。行き先不明の船にならないように、しっかりとしたいことが必要になってきます。今回の改革は、保育園にとっては大きな転換期です。これをどううまく活用し、職員等を導いていけるか。トップの手腕がますます問われてきます。最後に、この年度末で二年の副会長職の任期を終えることになりました。初めてのことで迷惑をお掛けしたと思いますが、会員の皆様のご協力のおかげで、なんとか任務を全うすることができました。本当にありがとうございます。会長をはじめ、他の役員の先生方、事務局にも、感謝、感謝です！

ちまた

保育園って、とても明るい場所だと感じませんか。それはきっと、保育園には笑顔があふれているからだと思っています。子ども達のあどけない笑顔はもろろんのこと、保護者の方の笑顔、ご近所の方やお客様の笑顔、職員の笑顔など、保育園は笑顔でいっぱいなんです。特に、子どもの笑顔は損得など関係なく自然なもので、可愛らしくとても清らかです。その笑顔を見て新しい笑顔が次々に生まれ、笑顔が笑顔をつなげているようです。私達人間の世界には様々なことがあり、いつも笑顔ではいられますが、疲れている時にでも微笑んでいる子どもの顔を見るだけで癒され、不思議とこちらも笑顔になれるものです。子ども達が、大人を笑顔へと導いてくれているのです。

大人は、子ども達から自然に笑顔をもらっています。その子ども達が安心して過ごせるように、また、今の可愛らしい笑顔がいつまでも続いているように、一人ひとりに寄り添うこと、そして、子ども達の身も心も健やかに育んでいくことを願い、子ども達の小さな変化に気付くよう見守ることが大切であり、大人の役目であると感じています。

ほほえみは
まばたきといっしょ
おりにではなく
しかたなしにでなく
気づかずに
自然に
花の香りのように

今日も保育園には、花の香りのような、たくさん笑顔があふれています。

新任 園長先生の紹介



ご縁を大切にしながら、職員と共に子ども主体の質の高い保育を目指して参ります。よろしくお願い致します。

東雲保育園
上西 隆全先生

続 倉敷市の親子の子育て応援団 ～こんなときどうする？～

前号に引き続き、地域の子育てサポーターを紹介します。倉敷市には子育て家庭にとってまだまだこんなに頼れる存在があるんですね。

休日夜間診療

夜間休日の突然の発熱や怪我などに対応してくれます。

休日夜間急患センター	425-5020
休日当番医(本 庁 宿 直 室)	426-3033
(児 島 支 所 宿 直 室)	473-1111
(玉 島 支 所 宿 直 室)	522-8110
(真 備 支 所 宿 直 室)	698-1112
夜間当番医(テレホンガイド児島)	472-1123
(テレホンガイド玉島)	522-1123

また、診療時間外に病院を受診するかどうか迷った時は…

小児救急医療電話相談

8000 又は 086-251-6608

をご利用ください。

子どもの迎えに行けない！

預けに行けない！

倉敷ファミリーサポートセンター

育児の援助を受けたい人が会員として登録し、サービスを受けられます。

〈援助の内容〉

- ・保育施設までの送迎
- ・保育施設の保育開始前や終了後の子どもの預かり
- ・子どもが軽度の病気や急用等の場合の子どもの預かり

※原則、提供会員の自宅で預かります。宿泊・家事の援助は行いません。

派遣型一時保育

保護者の都合(傷病・出産など)により緊急かつ一時的に家庭内で育児ができないとき、保育士等を派遣します。

〈問い合わせ〉

小ざくら地域子育て支援センター	445-1456
倉敷市役所 保育・幼稚園課	426-3311

病児・病後児保育

病気のため、集団保育が難しい…。そんな時、一時的に子どもを預かってくれる保育サービスです。倉敷・水島・児島・玉島各地区にそれぞれ1施設あります。登録申請・利用料等は各施設にお問い合わせください。※1)

熱が出た！

子どもが病気だけど休めない！

保育園は休みののに仕事！

休日保育

休日に家庭保育が出来ないとき(例：日曜祝日など)子どもを預かってくれる保育サービスです。時間・利用料等の問い合わせは各園へどうぞ。

※1)

より詳しい情報は『あのねっと』を検索、または子育てハンドブック「KURA」をご参照下さい。(ハンドブック『KURA』は、市役所子育て支援課又は各地区支所福祉課でもらうことが出来ます)



詳しい情報は『あのねっと』で検索！
または子育てハンドブック『KURA』！

あのねっと！ | 検 索

見直しましょう！

メディア漬け

医療法人社団清和会 笠岡第一病院
副理事長(小児科) 宮島裕子先生

テレビ・ビデオ・テレビゲーム・携帯用ゲーム・
インターネット・携帯電話・・・とても便利な時代になりましたね。
しかし、メディアとの長時間に及ぶ接触は、心身の発達過程に
ある子どもへの影響が心配されます。
あなたの家庭でのメディアチェックをしてみませんか？



我が家の食事時間

授乳中は？

- ☐ テレビを消している
- ☐ ケータイ・スマホを近くに置いていない
- ☐ 赤ちゃんの目を見ている
- ☐ 赤ちゃんがときどきあなたの目を見る

食事中は？

- ☐ テレビを消している
- ☐ ケータイ・スマホを食卓に置いていない
- ☐ みんながよく話をする
- ☐ 子どもは、よく噛んで食べている
- ☐ おいしいとよく言う



チェックの多い家庭は◎

NPO法人 子どもメディア「食事中はテレビを消してみませんか？」より

テレビ・ビデオ・ゲーム漬けが疑われる子の特徴

1～2歳児

- ☐ 呼んでも振り向かない
- ☐ 視線が合わない
- ☐ 表情に乏しい
- ☐ 言葉が遅い
- ☐ テレビを消すと嫌がる
- ☐ いっときもじっとしていない
- ☐ いきなり奇声を発する



3歳以上児

- ☐ 友達関係が持てない
- ☐ 遊びが限られる
- ☐ 表情が乏しい
- ☐ 気持ちが通わない
- ☐ 物を何かに見立てて想像して遊べない
- ☐ 自分から話しかけない
- ☐ ほかに子どもが近寄るとさける
- ☐ 視線が合わない



3つ以上チェックがあるお子さんは要注意！メディア漬けになっているかも？

NPO法人 子どもメディア「食事中はテレビを消してみませんか？」より

体を動かして友達や家族と遊ぼう

～ 心と体の健やかな成長 ～

体をつくる

- ★運動をして筋肉や体力・器用さ・持久力ができる。
- ★骨や体全体も成長する。

感覚をみがく

- ★見る(視覚)
- ★聞く(聴覚)
- ★味わう(味覚)
- ★ふれる(触覚)
- ★におう(嗅覚)

友達や家族
みんなと会話し
群れて遊ぶ

心をつくる

- ★わくわくする気持ち
- ★楽しい気持ち
- ★悲しいつらい気持ち
- ★くやしい気持ち

- ★お互いを感じる力
- ★口に出して話す力
- ★いっしょに楽しむ力
- ★がんばる力

少しずつ
心と体が成長して
自立に向かう

「笠岡第一病院 小児科」より

メディアとの 付き合い方 5つのポイント

- 1 2歳までのテレビ・ビデオ視聴は控えましょう。
- 2 授乳中、食事中のテレビ・ビデオの視聴は止めましょう。
- 3 すべてのメディアへ接触する総時間を制限することが重要です。
1日2時間までを目安。テレビゲームは1日30分までを目安と考えます。
- 4 子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パソコンを置かないようにしましょう。
- 5 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールをつくりましょう。



日本小児科医会
「子どもとメディア対策委員会」より

子ども期は、心とからだの基礎作りの大切な時期です。自分を信じる気持ちや思いやり、
体力・運動能力を育てるには、直接的に人と物にかかわることが欠かせません。
親も子どももメディア漬けにならないよう工夫してみてください。
親子で触れ合いましょう。



もうすぐ一年生 できるかな？

- 1 早寝・早起きをする
- 2 自分のことは自分でする
- 3 歯磨き・洗顔・手洗いができる
- 4 登校までに用便をすませる習慣をつける
- 5 ものをはっきり言うことができる
- 6 人の話を最後まで聞くことができる(目と耳で)
- 7 友だちと仲良く遊ぶことができる
- 8 食事の作法がきちんとできる